なす（ハウス） 7月の管理について

1 収穫終了後の管理

収穫が終わったほ場では，ミナミキイロアザミウマの耕種的防除として「ハウスの蒸し込み」を行います。地域全体の発生密度を下げ，露地なすへの初期飛来を抑制します。

写真１：太陽熱消毒のためほ場にビニールを被覆した様子

2 天敵昆虫の導入準備

なすの定植時期に地域に生息している天敵昆虫「タバコカスミカメ」を導入する場合には，ゴマ等を栽培し天敵昆虫を温存しておきます。

タバコカスミカメの自然発生時期は７月頃ですが，発生時期や発生量の多少は地域による違いがあります。

ゴマは，うねの端や，日当たりの良い場所に３０センチ間隔で植えます。

なお，タバコカスミカメは，ピーマンやシシトウ，トマトなどへ食害を及ぼすことがあるため，タバコカスミカメ温存用のゴマはナス畑用とし，ピーマンなどの近くには植えないようお願いします。

次の写真は，夏秋なすを栽培されている方が，ほ場の空きスペースでゴマを育てている様子です。

写真２：天敵温存用ゴマ栽培の様子